

# 第636回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和4年3月23日(水) 13時30分～16時45分  
開催場所 福崎町役場 3階 第2委員会室  
出席委員 高橋渉、桑谷祐頭、井奥智子、中田貴子、西村照明  
事務局 学校教育課長 大塚謙一、社会教育課長 松田清彦

## 1、開会

2、635回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として桑谷委員・西村委員を指名しました。

(桑谷委員) 前回欠席していたのでおうかがいします。神崎郡内以外の市町はほぼ全ての教育委員会に指導主事がいるとなつていますが、今後もこのような体制ですか。

(高橋教育長) 結論から言えばそのとおりです。指導主事の給料は県から出ず、町が負担する必要があります、財政的に厳しいと思っています。指導主事がないのは、おそらく神崎郡3町だけです。

(桑谷委員) 他の小さな市町レベルでも、指導主事は一人いるということですか。

(高橋教育長) そうです。そのため、前回の議事録にあるとおり、保護者対応、教育の方向性など県教委の方針を受けてどのように進めるかの提案等、教育委員会の事務局の中で行っており非常に苦労しています。

(桑谷委員) 非常に大変な実情があることは、皆に知っておいてもらわないといけないと思います。

## 3、教育長報告

### (1) 園小中学校の2月、3月の様子

こども園では、卒園式に向けて5歳児の成長を感じています。保護者から、子どもへの配慮、対応が悪いと指摘があった園がありました。また、土曜給食の提供について、業者が中国産の野菜を使っていると保護者から批判があり、今後こども園とともに対応を模索していきたいと思っています。保護者の中には、こども園は子どもの面倒を見て当たり前という意識が強く、就労証明が正しくなかったり、仕事が済んでもすぐに迎えに来られない人もおられます。

小学校では、高岡小学校はコロナの濃厚接触者で出席停止になった際に、タブレット端末によるオンライン授業を実施しました。福崎小学校は、不審者と地域の方の声かけの見極めが難しいと報告がありました。また、ワクチン接種後の副反応で休む職員が3人いました。田原小学校は、以前も報告があったウサギの着ぐるみを着た男性が、小学校近辺に出没しています。危害を加えることはありませんが、福崎警察でも認知しています。また、柳田國男ふるさと賞の受賞作品に対して地域の方の反響が大きく、学校にお礼を言いに来られた方もおられます。

中学校では、西中学校は卒業式に3年生全員が出席できました。東中学校は、3年生1人が受験できていません。3月に15人の生徒がコロナ陽性になり、小学6年生の体験入学を中止しました。

学校共通として、小学5・6年生で教科担任制の授業が令和4年度から始まりますが、資格のある先生を探すのに苦慮しています。

学童保育園の園長会を3月17日に開催しました。多動性児童への対応が西部と東部で異なっていたので、共通理解をして対応しています。スポーツ保険の対応につい

て、学童保育園で怪我をしたらすぐに報告書を出すように依頼しました。また、長期休業中はたくさんの児童が来るため先生の人数が足りないので、学習支援員や介助員も加わって対応しています。4月1日からは土曜日と長期休業期間中の開園時間を7時30分から19時までにしていきます。

(桑谷委員) こども園の土曜日以外の給食は地産地消で食材を使用していると聞いていますが、なぜ、土曜給食は中国産の食材になっているのですか。

(大塚学校教育課長) こども園では、土曜給食の業者が中国産の野菜を使っています。給食センターでは、国産の食材をほぼ100%使用しているうえ、できるだけ福崎町産の食材を使うよう努めています。

## (2)

①2月は「いじめ」の報告はありませんでした。

②通算30日以上欠席の児童生徒は、2月末で不登校が42人、病気が15人、その他の理由が17人で合計74人でした。昨年度は2月末で不登校が38人だったので4人増、病気が3人だったので、病院にかかる児童生徒が増え診断をもらっている割合が多いと考えられます。その他は10人から7人増えています。この中にはコロナ感染の不安から欠席する児童生徒も含んでいます。昨年度の30日以上欠席は合計51人だったので、理由は色々ありますが増えているという現状です。

## (3) 検討事項

協議事項で協議するため省略しました。

## (4) 学校行事等

### ①コロナ関係

東中学校では1年1組が学級閉鎖、3年生が学年閉鎖をしました。幼稚園の希望保育は、田原幼稚園が5歳児で行い、その後2歳児・3歳児は、3月15日から17日まで行いましたが収まらなかったため、3歳児は2日間延長しました。福崎小学校は1年2組で昨日(3月22日)まで学級閉鎖していました。本日は卒業式で1年生は登校しないので、明日の修了式には登校します。

## (5) 連絡・報告事項

①中学校3年生の進路について資料により報告しました。3月18日に公立高校の一般入試の結果が出て、一応進路は確定しています。

②卒業式への出席者の変更がありました。東中学校は桑谷委員、田原幼稚園は大塚学校教育課長が出席します。

③小学校の卒業式について、出席委員から子どもの様子など報告しました。

(中田委員) 初めて高岡小学校に行きました。卒業生は12人で、保護者は2人ずつ、4・5年生も体育館に入っていました。コロナ禍で大きく変わったのは、歌がなくピアノ伴奏やCDで流れていることと、児童の姿がスライドで大きく映されていることで、保護者の方も真剣に見ておられコロナ禍でICTが進んだのは良かったのではないかと思います。最後は高岡小学校特有の太鼓があり、集まって練習するのも難しいと思いますが、今後も是非続けて残していってほしいです。

(西村委員) 福崎小学校も高岡小学校の話とほぼ同じでした。感染症対策で空間を確保するために在校生は5年生のみの出席でしたが、換気を含め環境整備をしっかりとされていました。音楽はピアノ伴奏のみで、静かな卒業式だなという印象でした。ス

ライドでは、映像で喋っている児童が立ち上がるなど、新しいイベントの一つとして良くできていました。保護者と児童がしっかりとお互いを確認し、限られた時間の中で有意義な卒業式だったと思います。

(高橋教育長) 田原小学校に行きましたが、礼儀も姿勢も含めて100点で完璧でした。不登校ぎみの児童もいたそうですが、全員出席していました。ちょうど2時間の式でしたが、6年生もピリッとしており、在校生は5年生だけが参列していましたが来年も大丈夫だと安心できる素晴らしい卒業式でした。

(井奥委員) 八千種小学校も他の小学校と同じような感じで、6年生も落ち着いており中学校でもやっていけそうだと安心しました。卒業生が両親に語りかける別れの言葉はスクリーンに映しだされていましたが、やはり生の声が聞きたかったです。全体的に静かな卒業式で、来年は声を聞かせてもらいたいと思いました。

#### ④ 幼稚園の卒園式について、出席委員から報告しました。

(高橋教育長) 福崎幼稚園に行きましたが、姿勢も礼儀正しくごそごそする子もいませんでした。担任の先生はじめ、子どもたちの先生方への信頼がうかがえました。このまま小学校へ行っても大丈夫という印象を受けました。

(桑谷委員) 今年は高岡幼稚園は卒園生が10人いました。4歳児も式中ずっと静かに座っており驚きました。幼稚園の土手に草をはやさない黒いシートがかけてありますが、ボロボロになっていました。高岡幼稚園には正規の職員が2人だけで人数が少ないため、色々なことに手が回りにくいのか気になりました。

(大塚学校教育課長) 高岡幼稚園の防草シートは令和4年度に全面張り替えます。田原幼稚園の卒園式は、告辞にも子どもたちが受け答えしてくれて、子どもたちもしっかり聞いているのだと思いました。

(中田委員) 昨年に引き続き八千種幼稚園に行きました。スライドで園の1年の様子を流しているのは昨年と同様でしたが、保護者から先生へのサプライズがありました。コロナ禍でも保護者と先生の連携がうまく取れていたから、この良い式になったのだと思いました。

(高橋教育長) サルビアこども園でも子どもは立派にしており、先生方も一致協力しておられるというのをすごく感じました。遊具や環境もしっかりしているという印象を受けました。

(西村委員) 姫学こども園では卒園生1名が体調不良で欠席していました。園児も皆静かにしていました。告辞の際も子どもたちは前を向いてごそごそする様子もなく、しっかり話を聞いていました。換気を徹底しマスクをしたままで歌われ、保護者も感動されていました。

#### (6) その他

校長による地域の方への感謝状は、現在3件出ています。

#### 4月の予定

資料に基づき報告しました。

次回教育委員会は4月22日(金)午後1時30分から開催します。

#### 4、協議事項

##### (1) 令和4年度福崎町教育の努力目標(案)について

資料に基づき、令和4年度福崎町教育の努力目標について説明し、内容について検討しました。基本方針を『「志」の「芽」を育てる 福崎の教育』とし、令和3年度の「種

を育てる」から「芽を育てる」としています。副題の「すべての子どもの心に「灯」をともし 学校教育 町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育」は昨年から継続しています。提出案の内容で進めることとしました。

(高橋教育長) 大きく変更したところはありませんが、表現を変えたり思いを入れたり、時代の流れを考慮しているところがあります。

学校教育の13ページ⑦は先生方の働き方改革や業務改善についてですが、業務改善のために子どもとの関りを減らすことのないよう、校長会や教頭会を通じて話しています。地域の教育力の4)部活動の地域移行は、学校の先生は土日に部活動をしなないという方針が出ています。県教委は地域の人に部活を指導してもらおうとしていますが、大きな市では可能かもしれませんが、福崎町のような町で種目によってスポーツの指導をしていただける地域の人がいるのかという心配があるので、令和4年度に部活の地域移行をしている教育委員会があれば一度視察に行きたいと考えています。5)コミュニティスクールについては、地域の人等に学校に入ってもらい色々な意見を聞く取り組みを県教委が言っています。福崎町では学校評議員の方に意見を聞いているため特に困ってはいませんが、県教委の方針であるため、すでに取り入れている教育委員会を探して視察に行き話を聞きたいと思っています。6)関係機関との「総合連携制度」の関係機関とは警察のことです。警察ともっと連携を密にするようにと県教委が言っており、賛同しています。小中学校の生徒指導の担当者を中心に警察と連携して情報交換するように指示したいと思っています。

社会教育の14ページ⑤ふるさと学習では、柳田國男先生に限らず、ふるさとの色々なことを学ぶために、より効果的な在り方を考えていく時期ではないかと思い追加しています。

15ページの最後、会議録の表記方法等を分かりやすくするよう工夫するということが、教育委員会で委員からどのような意見が出たか分からないという指摘がありました。今と同じような方法ですが、来年度から会議録には委員の質問や話し合いの内容をより多く書いていきたいと思っています。

(桑谷委員) 中西播磨教育委員会の理事会が先日あり、色々な話が出ました。関係機関との連携では、例えば銀行など地域の経済の担当の方を呼んでお金の授業をするということが、成人が18歳に変更され中学校から勉強することが必要ではないか。また、教育委員会の開催について、学生たちのタブレットの話題が出た際、授業現場に実際行き使用している姿を見て話をされていきました。昔は教育委員会で小中学校で教育委員会を開いていたこともありますが、コロナがあり外へ出ていません。その状況の中でも他の教育委員会の先生が現場に出かけ子どもたちの授業を見てきちんと知っているという問題があるので、町教委でも是非現場をよく見ておかないといけないと思いました。すぐには言いませんが、ぜひお願いします。

(高橋教育長) コロナが下火になったら、町内の学校の視察を行いたいと思います。

(桑谷委員) プログラミングの授業科目がありますが、実際どのようなことをしているのか分からないので、授業を見てみたいです。

(西村委員) お金の授業はニュースで見たことがあります。高校の「経済」の授業で企業の立場で利益や純利益など経済の勉強でした。

(中田委員) 高校の家庭科で金融の教育をしており、銀行が金融の授業のプログラムを作っています。今、幼児のプログラミング教育が人気になっており、学校の先生は大変だろうと思います。

(高橋教育長) 来年度に視察をぜひ計画したいです。

## (2) 文化財保存活用地域計画について

1月の教育委員会定例会で概要を説明した文化財保存活用地域計画は、文化財審議委

員会や地域計画協議会の意見に対応し、素案として取りまとめました。計画（素案）について協議を行い、今後は計画（案）として令和4年7月の文化庁認定に向け、文化庁や関係省庁との協議を進めて行くことに決まりました。認定後には、計画本編を印刷して関係者に配布するほか、概要版を作成し、各戸配布で住民への周知を図ります。また、自治会ごとに文化財をまとめた資料編も作成する予定です。

（桑谷委員）計画を色々な場所の人が検索できるような手だてを講じておき、この場所に行ってみたいと思える状況を提供できれば良いです。例えば先日神戸新聞が板坂・田口を通る西国三十三所の巡礼の道を記事に取り上げられましたが、先方から取り上げたいと言っていたのは大変ありがたいことでした。

一点、有形文化財の中で文学碑を取り上げてもらいたいと文化財審議員会の中で意見しましたが、石造物の中に入っていないのが残念です。文学碑があることで、研究者やその弟子の方が集まってこられる。文学碑がたくさん集まっているので、国や県で最初から指定があるなら別ですが、福崎町では文学碑というジャンルを文化財として、町の特色にして取り組めば訪れる人は増えるはずだと思います。

### （3）福崎町就学援助費給付要綱の一部改正について

就学援助の種類に「英語・漢字検定料費」を加えることと、既存の援助費の上限額の修正などを行います。

### （4）福崎町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について

福崎町立小学校及び中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的な負担を軽減するために支給する就学奨励費は、これまでもこの要綱の内容に沿って支給していましたが、その根拠となる要綱がなかったため制定します。対象者は、福崎町内に住所を有する児童生徒の保護者で、教育委員会が別に定める認定基準に基づき、教育委員会が認め支給します。ただし生活保護法による扶助を受けているものと福崎町就学援助費給付要綱の規定による就学援助を受けているものを除きます。この要綱は、令和4年4月1日から施行します。

協議事項（3）～（4）について資料に基づき、要綱改正1件、要綱制定1件について協議し、教育委員会の賛同を得ました。

## 5、報告事項

〈学校教育課〉

### （1）令和4年度 主要事業について

資料に基づき報告しました。

国際教育推進事業では、今年度もALT2名で国際理解教育を推進します。学校教育では、小・中学校における不登校・学習支援対策等で、不登校相談員2名、スクールカウンセラー3名を配置します。特別支援学級の介助員は、小学校で1名減の13人、中学校で1人増の4人。学習支援員は小学校で1名増の11人、中学校で増減なしの4人の配置をします。GIGAスクール関連では、GIGAスクール構想の端末などを利用してICT教育を進めます。学習支援ソフトのベネッセのミライシードを活用していきます。小・中学校における体験学習事業では自然学校や「トライやる・ウィーク」など実施します。長寿命化改良事業では、令和7年度から予定する田原小学校の長寿命化工事に先立ち、設計の検討業務を委託します。令和4年度にはトイレ改修工事の実施設計委託を福崎小学校南校舎、高岡小学校並びに八千種小学校で行います。田原小学校、西中学校並びに東中学校のトイレ改修工事は令和3年度予算を令和4年度に繰り越して実施します。学校施設修繕事業は、各学校で年次計画の小規模

修繕を実施します。大きなものとして、東中学校のプールシャワー新設と自転車の駐輪場の雨漏りの修理を行います。また、八千種小学校の回転塔が故障・撤去したため、新たに遊具を設置します。学校給食共同調理事業では、調理配送業務をコーベフーズ（株）に委託し、地産地消を進めながら安心安全な給食を提供します。こども子育て支援事業では、病児病後児保育事業を継続します。岩手県遠野市との友好交流事業は、令和2年度・3年度はコロナの影響で実施できませんでしたが、今年度もコロナの状況をみながら、例年同様15人の児童を対象に実施する予定です。

社会教育施設整備改修事業では、エルデホールの舞台の明るさを調整する設備や器具のLED化等の改修工事、文化センター2階トイレの改修や、野外センター管理棟の空調設備更新や外灯のLED化、高圧受電設備の改修に取り組みます。人権教育では、令和4年11月12日(土)にエルデホールで「第42回 ひょうご女性未来会議 inふくさき」を共催します。美術展事業では、第40回福崎町美術展を、令和4年6月10日～12日の開期で実施します。歴史民俗資料館運営事業は、開館40周年を記念した企画展や神崎タイムスにみる福崎を取り上げた特別展、歴史文化遺産継承にむけた連続講座を計画しています。柳田國男・松岡家記念館運営事業の第43回山桃忌は、「日本人の家と承継—松岡家・柳田國男のルーツをさぐる—」としてシンポジウムを8月6日(土)、福井県の民俗芸能を7日(日)に開催する予定です。また、山桃忌のテーマに関連した柳田國男先生の祖父母に関する特別展や松岡映丘の画稿展、『柳田國男検定』にも引き続き取り組みます。文化財保護事業では、引き続き、神戸大学と連携した歴史遺産の掘りおこしを進めるとともに、高岡・福田地区のほ場整備や民間開発の確認調査に加え、山崎地区ほ場整備の試掘調査を進めます。地域文化財総合活用推進事業では、文化財保存活用地域計画の文化庁認定に取り組みます。

## (2) 損害賠償訴訟について

資料に基づき報告しました。令和3年12月24日に原告が控訴し、令和4年4月20日に大阪高等裁判所で弁論が行われます。

## (3) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。小中学校トイレ改修工事实施設計業務委託は、設計内容が完了しました。3月15日現在の進捗率は95%です。

## 〈社会教育課〉

### (1) 工事進捗状況について

資料に基づき報告しました。エルデホールイベントホール照明設備改修工事は、先週に現場工事は終わり、書類等の提出を残しているのみです。3月15日現在の進捗率は80%です。

### (2) 今後の予定

資料に基づき報告しました。

(桑谷委員) 子どものワクチン接種の状況はどうなっていますか。

(大塚学校教育課長) 学校教育課としての実態の把握は難しく、保護者の考え方にに基づくというスタンスです。

(桑谷委員) コロナの学級閉鎖は今までのインフルエンザの学級閉鎖と異なるので、感染者の人数等で誤解を生んでいることがあるような気がします。

(高橋教育長) インフルエンザでの学級閉鎖は10人近く休んだ場合ですが、コロナの場合は複数人であるため、極端な話では2人になったら学級閉鎖になる状況です。情報を発信していなかったなので、検討したいと思います。

6、閉会

以 上

署名委員 桑 谷 祐 顕

署名委員 西 村 照 明